

(修正)  
資料3

## 令和元年度 第4回 高知支部評議会

### 議題2 令和2年度事業計画（案）について

令和元年10月25日



全国健康保険協会 高知支部  
協会けんぽ

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

# 支部保険者機能強化予算の概要

## 「予算体系」

協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。

- ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算（基礎的業務関係予算）
- ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な予算（医療費適正化等予算）
- ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な予算（保健事業予算）

このうち、②及び③の予算については、「**支部保険者機能強化予算**」として、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組みを実施する場合に予算計上する経費となる。

## 「支部別予算枠」

予算区分	分野	令和2年度の支部別予算枠の算出基準	高知支部の予算枠
支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	全体予算8億円を、全支部一律に定額部分600万円を設定した上で、残りを加入者数で按分し加算	9,418千円
	広報・意見発信経費		
支部保健事業予算	健診経費	全体予算40億円を40歳以上の加入者数で按分	27,295千円
	保健指導経費		
	重症化予防事業経費		
	コラボヘルス事業経費		
	その他の経費		

# 令和2年度 高知支部 医療費適正化等予算（案）

## 医療費適正化対策経費（案）

項番	事業名	概要	期待効果	経費
1	医療機関等へのジェネリック医薬品使用状況及び流通状況等の「見える化」ツール提供	高知支部におけるジェネリック医薬品用割合は70.0%（令和元年5月診療分）で全国46位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。そこで、医療機関や調剤薬局に対し、ジェネリック医薬品（GE）使用状況のほか、寄与度の高いGEや流通量の多いGEを示すことで、使用割合の向上を図る。	医療機関等に対して、ジェネリック医薬品の使用割合や流通状況を「見える化」して示すことにより、ジェネリック医薬品への切り替え促進が期待できる。	1,320千円
2	医薬品の多剤・重複服薬者に対する注意喚起文書送付	多剤併用による医療費の増加、ポリファーマシーや残薬等が社会的にも問題となっている。そこで、複数の医療機関を受診し、多剤服用している加入者に対して服薬情報を通知することで、これらの防止を図る。	通知を受け取った加入者が、医療機関や調剤薬局へ相談することにより、医薬品の相互作用や重複服用等を解消することができ、医療費の抑制やポリファーマシーの防止が期待できる。	1,650千円
3	【令和2年度新規事業】 フリーペーパーを利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知県の新聞占有率86.35%（平成29年6月）を誇る高知新聞の折り込みチラシやコンビニエンスストア、書店等にて無料配布されるフリーペーパー（毎月18万部～20万部発行）へ広告を掲載することにより、加入者を含む県民にジェネリック医薬品に関する知識の啓発を行う。	加入者を含む県民に広くジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。また、当該フリーペーパーは、高知新聞の朝刊折り込みのほか、高知市とその近郊ではコンビニエンスストアや量販店、書店、大学等でも無料配布されているため、新聞を購読していない層に対しても広報することができる。	594千円
4	【令和2年度新規事業】 位置情報を利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	ジオターゲティング広告とランディングページを活用し、医療機関や薬局へ通院されている方に対して、ジェネリック医薬品に関する知識の啓発を行う。	ジオターゲティング広告とランディングページを活用することで、医療機関や調剤薬局へ通院している方等にターゲットを絞ることで、効率的に広報をすることができる。	858千円

# 令和2年度 高知支部 医療費適正化等予算（案）

## 医療費適正化対策経費（案）

項番	事業名	概要	期待効果	経費
5	【令和2年度新規事業】 電車広告を利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知県の中央地域を運行する高知市の市内電車へ広告を掲載することにより、加入者を含む県民にジェネリック医薬品に関する知識の啓発を行う。	加入者を含む県民にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。なお、高知市の市内電車における運行エリアは高知県人口の約56%をカバーしており、年間で延べ6百万人以上（平成29年度、6歳未満除く）が利用しているため、多くの人々に繰り返し広報することができる。	1,020千円
6	【令和2年度新規事業】 バス広告を利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知県の中央地域を運行する高知市の市内バスへ広告を掲載することにより、加入者を含む県民にジェネリック医薬品に関する知識の啓発を行う。	加入者を含む県民にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。なお、高知市の市内バスにおける運行エリアは高知県人口の約68%をカバーしており、年間で延べ3百万人近く（平成29年度、6歳未満除く）が利用しているため、多くの人々に繰り返し広報することができる。	746千円
7	【令和2年度新規事業】 懸垂幕を利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知市の中心地に懸垂幕を掲出することにより、加入者を含む県民にジェネリック医薬品に関する知識の啓発を行う。	加入者を含む県民にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。なお、懸垂幕を掲出するビル（はりまや橋付近）の周辺は、年間で自動車約2万台（平成27年度）、バス利用者約13万人（平成29年度）、電車利用者約68万人（平成29年度）が通行するため、多くの人々に繰り返し広報することができる。	748千円
医療費適正化対策経費合計（項番1～7）				6,936千円

# 令和2年度 高知支部 医療費適正化等予算（案）

## 広報・意見発信経費（案）

項番	事業名	概要	期待効果	経費
8	紙媒体による広報 ・事業向けチラシ ・健康保険各種申請の手引き	定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷、及び業務用のリーフレットやポスター、冊子（しおり）の作成等。	事業所における健康保険事業の理解促進。	1,586千円
9	新聞を利用したインセンティブの周知広報	インセンティブ制度に係る平成30年度の実績データ（速報値）において、高知支部は全国最下位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。そこで、地元紙である高知新聞にインセンティブ制度の広告を掲載することにより、要治療者の医療機関受診やジェネリック医薬品使用促進の意識付けを行う。	おもに事業主や加入者に対して、インセンティブの内容や高知支部の現状を周知することにより、評価指標の各数値の向上に繋がる。なお、高知新聞は朝刊の発行部数が17万部を超え、高知県では86.35%の占有率（平成29年6月）を誇っているため、多くの人々にダイレクトに内容を伝えることができる。	489千円
10	医療機関での配布用申請書セットの作成	限度額適用認定、出産育児一時金、治療用装具の各種制度にかかるリーフレットと、申請書をセットにして、医療機関や市町村等へ備え付け、申請される加入者へ配布してもらう。	加入者が協会けんぽへ問い合わせ等をすることなく、必要な情報を得ることができるとともに、申請書を手にすることができる。	252千円
11	健康づくりに関するメルマガでの情報発信	医師に専門的見地による医療・健康に関するコラムを執筆してもらい、メルマガを通じて加入者へ情報を提供する。また、支部ホームページにも、メルマガのバックナンバーとして掲載する。	加入者の疾病予防や健康増進に対する意識向上に繋がる。	60千円
12	職場の健康づくり応援研修会の開催	協会けんぽ高知支部と高知県、高知市が連携し、事業所の健診等の担当者に対して、健康づくりや健康保険制度等に関する研修会を開催する。	事業所担当者に健康づくりや健康制度に関する知識を深めていただくことで、事業所内における健康づくりや加入者の制度周知に繋がる。	95千円
広報・意見発信経費合計（項番8～12）				2,482千円

# 令和2年度 高知支部 保健事業予算（案）

## 健診経費（案）

項番	事業名	概要	期待効果	経費
13	事業者健診HbA1c追加検査	事業者健診実施前に食事を摂取し、やむなく随時血糖検査（3.5時間未満）を実施する者へ、同一検体を使用してHbA1c検査を実施し、その費用を協会けんぽが健診機関に支払い、血糖データの提供を受ける。	事業者健診データを取得する際の問題点（食後3.5時間未満の血糖値は取得できない）に対し、HbA1c検査を健診機関で追加実施し、血糖データの提供を受けることにより、健診受診率が向上。	1,320千円
14	治療中の者の検査結果情報提供	治療中の方の検査結果に不足する特定健診の項目を医療機関で追加実施し、検査結果情報の提供を受ける。	情報の提供を受けることで、健診受診率が向上。	100千円
15	特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	未受診者を対象としたオプション健診を、10月に集客が見込めるショッピングモールで、また、年度末に県内各エリアで実施し、特定健診の受診率向上を図る。	買い物に行き慣れたショッピングモールを会場とすることで、健診無関心層の行動変容を促し、また、年度末最後の未受診者対策により、特定健診およびがん検診の受診率が向上。	3,715千円
16	高知市と連携した特定健診とがん検診の同時実施	年度末に、高知市在住の未受診者を対象とした集団健診を高知市福祉保健センターで開催し、特定健診及びがん検診の受診率向上を図る。	未受診者対策により、特定健診およびがん検診の受診率が向上。	1,889千円
17	【令和2年度新規事業】 圧着ハガキによる特定健診の受診勧奨	開封率が高いとされる、圧着ハガキを使用して、特定健診の受診勧奨を行い、受診率向上を図る。	未受診者対策により、特定健診およびがん検診の受診率が向上。	644千円
18	健診機関による委任状取得の委託費	健診機関が事業主から委任（同意）状を取得し、健診データを健診機関が直接、協会けんぽへ提出する。	事業所から健診データを提出する煩雑さが解消され、健診機関から直接、健診データを取得することによって、特定健診の受診率が向上。	352千円
19	事業者健診データ同意書及びデータ取得の外注	外注業者から勧奨を実施し、同意書及びデータ取得件数を増やす。	事業者健診データ取得件数（取得率）の向上。	5,313千円

# 令和2年度 高知支部 保健事業予算（案）

## 健診経費（案）

項番	事業名	概要	期待効果	経費
20	業者健診データパンチ委託	紙データで取得した事業者健診データを外注業者にパンチ委託する。	事業者健診データの効率的な取得。	193千円
21	事業者健診データ作成手数料	システムで支払いのできない提供者（生活習慣病予防健診未実施機関やデータ作成事業所）への事業者健診データの作成手数料の支払い。	事業者健診データの効率的な取得。	508千円
22	健診推進経費	健診受診者数等の目標値を設定の上、健診機関等がその目標値を達成した場合に、報奨金を支払う。	健診機関等との連携・協力が促進し、健診受診率が向上。	4,206千円
23	郵送式血液検査サービス	特定健診の未受診者に対して郵送式のセルフ血液検査を実施し、健診に興味を持たせ、次年度以降の特定健診受診に結び付けることを目的とする。	健診無関心層（3年以上連続未受診者）の健診受診。次年度以降の定期的な健診受診へ誘導し、受診率向上に繋げる。	2,662千円
24	健診年次案内用受診勧奨チラシ作製	支部独自の受診案内を作成し、年次案内に同封し、受診率向上を図る。	健診受診率の向上。	1,272千円
健診経費合計（項番13～24）				22,174千円

# 令和2年度 高知支部 保健事業予算（案）

## 保健指導経費（案）

項番	事業名	概要	期待効果	経費
25	中間評価時の血液検査費	特定保健指導利用者の生活習慣改善意識の維持向上を図るとともに、特定保健指導における検査結果の活用を目的として、血液検査等検査を希望する特定保健指導利用者に対して実施する。	生活習慣の改善に繋がる。	1,650千円
26	医師謝金	保健指導に対して医学的な意見・助言を行う医師に対して支払う。	保健指導従事者のスキルの向上。	154千円
27	保健指導用パンフレット作成等経費	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	生活習慣の改善に繋がる。	150千円
28	保健指導用事務用品費（測定機器類等）	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	生活習慣の改善に繋がる。	200千円
29	保健指導用図書購入費	保健指導の効果的な実施方法等知識の習得を行う。	保健指導従事者のスキルの向上。	70千円
30	公民館等における特定保健指導	土曜日・日曜日等に特定保健指導を実施し、特定保健指導の利用勧奨を促進する。	特定保健指導実施率の向上。	40千円
31	保健師募集広告経費	支部が行う契約保健師の求人については、各支部のホームページ等を通じて行っているが、求職者の情報取得の機会を拡充する。	保健師・管理栄養士の人材確保。	50千円

# 令和2年度 高知支部 保健事業予算（案）

## 保健指導経費（案）

項番	事業名	概要	期待効果	経費
32	保健指導推進経費	特定保健指導実績に対する報奨金を支払うもの。	特定保健指導実施機関との連携・協力が促進し、特定保健指導実施率が向上。	436千円
33	特定保健指導に係る「共同利用」のお知らせ印刷	被保険者の保健指導を円滑に実施するため、健診結果に健診結果データの共同利用に係る文書を同封。	保健指導の円滑実施。	495千円
34	【令和2年度新規事業】 特定保健指導対象者の集団指導	実施率の低い被扶養者と、特定保健指導の受け入れを拒否する事業所の特保対象被保険者を対象に、運動指導をセットにした集団指導・お料理教室をセットにした集団指導を実施し、実施率の向上を図る。	特定保健指導実施率の向上。	112千円
35	保健指導（初回面談）用クリアファイルの購入	保健指導対象者が、日々の生活の中で自分自身の生活習慣の見直しの参考に使用できるクリアファイルを、初回面談実施者に配布。また、支部内での指導実施者のデータを管理するためのクリアファイルを購入し、効率的に管理するために使用する。	特保指導対象者の食生活改善により、特保指導対象者が減少する。	179千円
保健指導経費合計（項番25～35）				3,536千円

# 令和2年度 高知支部 保健事業予算（案）

## 重症化予防事業経費（案）

項番	事業名	概要	期待効果	経費
36	未治療者受診勧奨	健診結果（血圧値または血糖値）で要治療と判断されながら医療機関を受診していない治療放置者に対して受診勧奨を行う。	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	211千円
37	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則って、医療機関未受診者及び治療中断者に対して受診勧奨等を行う。	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	520千円
重症化予防事業経費合計（項番36～37）				731千円

# 令和2年度 高知支部 保健事業予算（案）

## コラボヘルス事業経費（案）

項番	事業名	概要	期待効果	経費
38	【令和2年度新規事業】 事業所での集団（健康）学習（Ⅰ）	事業所単位で健康学習会を実施し、事業所ぐるみで健康増進を推進する意識を高めていく。	事業所ぐるみの健康増進意識の高揚。	250千円
39	【令和2年度新規事業】 事業所での集団（健康）学習（Ⅱ）	健康づくりの取り組み事例を集約して冊子にし、宣言事業所が参考にできる事例集として配布する。	事業所ぐるみの健康増進行動の推進、職場環境の改善。	79千円
コラボヘルス事業経費合計（項番38～39）				329千円

# 令和2年度 高知支部 保健事業予算（案）

## その他の経費（案）

項番	事業名	概要	期待効果	経費
40	保健事業計画アドバイザー経費	保健事業の効果的な実施方法を検討・実行する上で、有識者のアドバイスをいただく。	保健事業実績の向上。	122千円
41	Let's start! オフィスdeエクササイズ	職場内で行う運動を通じてコミュニケーションを図りながら、事業所全体の健康度を向上させる。	従業員間のコミュニケーション増進、肥満・高血圧対象者の運動習慣に対する意識の向上と運動習慣の定着。その結果、事業所全体の健康度の向上や、コミュニケーションの増加でメンタルトラブルの予防につながり、生産性の向上が期待できる。	403千円
その他の経費合計（項番40～41）				525千円